



QRコードから、ぜひ印刷労連のHPもご覧ください。

連合印刷労連 労働相談ダイヤル
03-5442-0191

2022年度 第1回 中央委員会が開催される!

2022年7月29日(金)、2022年度の第1回中央委員会が友愛会館大ホールとオンライン併用で開催されました。議長には図書印刷労働組合の重松中央委員が就任し、議事についてはすべてが確認されております。

2022年度 第1回中央委員会 報告・議事内容

開催日時: 2022年7月29日(金) 13:30~17:00 会場: 友愛会館大ホール / オンライン併用

◆報告事項

- (1) 内部・外部関係活動報告
- (2) 2021年度本部活動報告
- (3) 2021年度決算報告
- (4) 2021年度内部会計監査報告
- (5) 2022年度中央委員の変更について

◆議事

- (1) 2022春季生活闘争のまとめ(案)
- (2) 2021年度繰越金処分(案)
- (3) 2022年度運動方針(案)
- (4) 2022年度予算(案)
- (5) 構成組織からの会費減免申請について
- (6) 構成組織の脱退および中央委員退任に関する件
- (7) 第29回年次大会の開催について



議長 重松中央委員
 <図書印刷労働組合>

穴戸中央執行委員長挨拶<要旨>

すべては一人一人の熱意から始まる!!

<1点目: 世界情勢について>

先の連合中執において、芳野会長も言及されましたが、ロシアによるウクライナ侵攻は、5か月余りが経過した今も見通せない状況です。命と人権を奪い、平和なくらしと雇用を破壊する暴挙を決して許さず、即時撤退と平和回復の実現に向けて、非難の声を上げ続けることが重要です。

また、その影響から国民生活にも不安が生じています。不確実性が増す世の中であって、労働運動として、民主的な社会を守り、すべての働く者の現在と将来の安全・安心を確保するため、お互いに知恵を出し合いながら、道を切り開いていかなければなりません。

今回の連合「ウクライナ救援カンパ」へのご協力に感謝申し上げますとともに、印刷労連としては「457,720円」を集約することができましたことをご報告いたします。

<2点目: 2022 春季生活闘争について>

要求提出から交渉、回答の引き出しにご尽力いただきました構成組織と地協の皆さんに感謝申し上げます。「人への投資」と月例賃金へのこだわり、格差是正の取り組みは当然に継続する一方、国際情勢やコロナ禍の動向など見極めが必要な要素も数多く、またデジタルトランスフォーメーションやカーボンニュートラルにおける課題の克服なども労使での取り組みが必要です。引き続き「働くことを軸とする安心社会」に向けて歩みを進めるうえでの課題などについて、また、2023春闘をイメージして、活発なご議論をお願いいたします。

<3点目: 「ジェンダー平等」について>

6月11日に開催された「ジェンダー平等・多様性推進会議」において、「印刷労連・ジェンダー平等推進計画」の素案が議論されました。ほぼ同時に、5月27日に開催された政府の「男女共同参画会議」において、「女性活躍・

男女共同参画の重点方針2022」の原案が議論されました。「女性の経済的自立を『新しい資本主義』の中核と位置付け、女性が直面する課題を一つ一つ解決し、令和の時代において女性が経済的に自立して生きられる社会を実現する必要がある」と盛り込まれました。

現在、女性雇用者の半数以上が非正規雇用、正社員の賃金と比較しても男性の7割にとどまっています。

また、結婚や出産を理由に5割もの女性が第1子出産を機に離職しており、現役時代の低賃金や不安定雇用は、高齢女性の貧困にもつながっていきます。

連合は、あらゆる機会を通じて、男女間賃金格差の是正を訴えてきましたが、今こそ実現に向けて社会全体で取り組むべきであり、その最前線に立つべきは労働組合に他なりません。

私たち印刷労連も、前段の中執にて「ジェンダー平等推進計画」を確認いただき、念願でありました2022年度運動方針(案)に盛り込むことができました。

現場の意見をきちんと聞くことで、労働運動がさらなる前進を果たせるよう全力で取り組んでまいります。

<4点目: 政治への取り組み>

第26回参議院選挙は、みなさんのご支援とご協力により、印刷労連推薦候補者の電力総連組織内である「竹詰ひとし」さんが見事初当選を果たすことができました。

全体では課題が残りしましたが、国民民主党は比例で頑張りを見せ、昨年の衆議院議員選を超える票を獲得しました。

すべては一人一人の熱意から始まります。皆さんの活発な議論をお願いし、冒頭の挨拶とさせていただきます。ともに頑張りましょう。



穴戸中央執行委員長

中央委員会 議事提案・報告者



活動報告他
大塚中央書記長



決算報告・予算(案)他
細谷財政部長



内部会計監査報告
山口会計監査



司会・開会挨拶
古賀副中央書記長



2022運動方針(案)
穴戸中央執行委員長



閉会挨拶
水落副中央執行委員長

— 中央委員会での質問・意見(抜粋) —

・2022年 運動方針(案)に関する意見

労働者福祉の向上について、ろうきん、こくみん共済coop運動と推進と連携とあるが、その他印刷労連としてスケールメリットを活かした印刷労連独自の総合福祉サービスの検討をお願いしたい。



中央委員会 オンライン出席者



中央委員会 会場出席者

2021年度 ジェンダー平等・多様性推進会議の開催について 日程:2022年6月11日(土)

全国11地協参加、オンライン開催! グループディスカッションで意見交換を実施!

2022年6月11日(土)、東京・友愛会館の印刷労連事務所をホスト会場にオンライン開催とし、2021年度ジェンダー平等・多様性推進会議を実施しました。全国11地方協議会から14名、構成組織から10名、そして本部・産業政策委員会メンバー7名含めて、合計31名が出席しました。

2017年度～2020年度まで女性活躍推進会議として開催されたこの会議は、2021年度の運動方針にもとづき、ジェンダー平等・多様性推進会議と名称を変更し、今年5回目を迎えました。

議題は、①2021年度印刷労連本部、地方協議会および構成組織の取り組み報告、②連合「ジェンダー平等・多様性推進計画フェーズⅠ」および「第4次男女平等参画推進計画プラス」のまとめの共有、③印刷労連「ジェンダー平等推進計画」(素案)についての説明をし、計画の内容については、実態に合った計画となっているか検証することを目的として、Zoomのブレイクアウトルームを活用したグループディスカッションを行い、参加者からの意見をいただきました。印刷労連の「ジェンダー平等推進計画」(素案)は、2021年度産業政策委員会を中心に議論を進めてきましたが、この内容についての意見交換は印刷労連の2022年度の運動方針策定に向けた重要なポイントとなり、グループディスカッションでは、各グループとも活発な意見交換となりました。いよいよ2022年度は、運動方針にもとづき印刷労連「ジェンダー平等推進計画」の推進を進めるべく活動を進めてまいります。

引き続き皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

古賀 初代



<連合>平和行動への参加報告（沖縄・広島・長崎）

連合は平和運動として主に、次の3つの課題に取り組んでいます。

1. 核兵器廃絶による世界の恒久平和の実現と被爆者支援の強化
2. 在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しに向けた運動
3. 北方領土の早期返還と日ロ平和条約の締結をめざす運動

そして連合は平和4行動に取り組んでおり、今回の誌面では、現時点において開催された3つの平和行動についてご報告をいたします。

1. 平和行動 in 沖縄

〔日程:2022年6月23日～24日〕

連合は、沖縄「慰霊の日」である6月23日から24日にかけて「2022平和行動 in 沖縄」を2019年以来3年振りに現地・沖縄県で開催しました。

6月23日:2022平和オキナワ集会

「2022平和オキナワ集会」は“那覇文化芸術劇場なは一と”にて、参加人員を会場定員の半分に、また集会時間の短縮やマスク着用などの感染対策を講じ、全国の構成組織や地方連合会から742名が参加し開催されました。(印刷労連からは4名)

<第1部 基調講演>

「沖縄の施政権返還50年と日米地位協定」
明田川融 法政大学法学部政治学科教授

<第2部 平和式典>

連合本部 芳野会長 連合沖縄 東盛会長
沖縄県 玉城県知事 より挨拶など

6月24日:ピースフィールドワーク

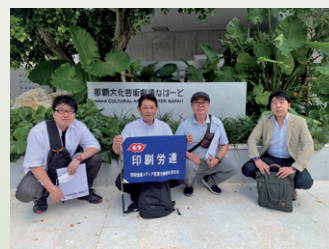
沖縄県庁からバスでスタートし、嘉数高台では現代における米軍基地の問題を、他の視察地においては沖縄戦の実相について連合沖縄の方に案内を頂きました。

<視察地>

嘉数高台(普天間基地)～旧海軍司令部壕～ひめゆりの塔/資料館～平和記念公園/資料館～魂魄の塔

戦争のない世界と恒久平和実現のため、今回の平和行動で共有した思いを自ら声を上げ、多くの仲間や未来を担う子どもたちに、しっかりと伝えていくことが我々現代人の使命なのだと感じております。

勝又 紀智



参加者<4名>

- 勝又 紀智 (印刷労連本部)
- 川村 明久 (共同印刷労組)
- 田中 純一 (フォームズユニオン)
- 大島 聡 (リーブルテック労組)

2. 平和行動 in 広島

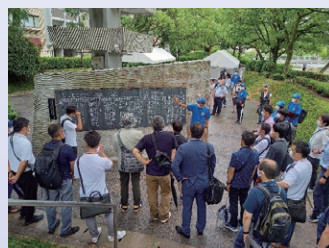
〔日程:2022年8月5日～7日〕

連合主催の「平和行動 in 広島」が開催され、印刷労連より10名が参加しました。

1日目は「ピースウォーク」に参加し、広島平和記念公園内にある、原爆ドームを含めた数々の慰霊碑を連合広島の方よりご案内して頂きました。その後、県立広島産業会館において開催された「連合2022平和ヒロシマ集会」では、連合芳野友子会長が主催者代表挨拶、続いて国際労働組合総連合(ITUC)から、シャラン・バロウ書記長が核兵器廃絶と平和で公正な社会の実現を求めるメッセージを発信しました。また中国新聞社編集委員の水川恭輔氏による「核兵器使用の非人道性と核兵器禁止条約」について講演があり、広島県原爆被害者団体協議会・被爆を語り継ぐ会の切明千枝子さんより当時の被爆体験が語られました。実際には想像もつかないような光景であったらと思うと、原爆の恐ろしさは計り知れません。

2日目は、厳戒な警備態勢の中、会場の外からではありましたが広島市主催の原爆死没者慰霊式ならびに平和祈念式典に参加し、午前8時15分、静寂の中、平和の鐘が鳴り響く会場に向け黙祷を捧げました。この日は、国連のグテーレス事務総長をはじめ、世界各国から多くの要人が参加され、核兵器の悲惨さを痛感しました。世界で唯一の被爆国である日本から核兵器廃絶と世界の恒久平和実現に向けて尽力することを宣言し、平和運動が更に広がり、戦争のない平和な世界が実現することを願いました。

細谷 貴之



参加者<10名>

- 佐藤 正治 (印刷労連本部)
- 細谷 貴之 (印刷労連本部)
- 藤原 隆之 (凸版印刷労組)
- 馬場 達也 (凸版印刷労組)
- 龍口 隆二 (凸版印刷労組)
- 古川 貴史 (コクヨ労組)
- 岡本 瞬祐 (共同印刷労組)
- 佐伯 尚栄 (フォームズユニオン)
- 宇野 健斗 (図書印刷労組)
- 土田 祥平 (リーブルテック労組)

3. 平和行動 in 長崎

〔日程：2022年8月8日～10日〕

2022年8月9日、連合が主催する「平和行動in長崎」に参加し、印刷労連派遣者10名は長崎の地に降り立ちました。その日から数えること77年前、広島に続き長崎も原爆の被害に遭い、今もなお被害に苦しむ人々がいる中、この記憶を後世に語り継ぐため取り組みを継続しております。

今回、コロナ禍の中にありながらも3年ぶりに規模を縮小しての開催となり、参加者全員がこの行動で少しでも当時の状況を共感するために臨みました。

1日目は、連合が主催する「2022平和ナガサキ集会」に参加し、連合長崎会長の挨拶、連合本部事務局長挨拶、長崎市長挨拶、国際労働組合総連合(ITUC)書記長からのメッセージをはじめ、被爆者の訴え、基調講演、若者からのメッセージ、ナガサキからの平和アピールの確認、ピースフラッグリレーを執り行いました。

2日目は、コロナ禍ということもあり、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典への立ち寄りができず、長崎原爆資料館を視察し、原爆が投下された11時02分に参加者全員で黙とうを捧げました。その後、連合長崎の青年委員会で構成するピースウォークに参加し、原爆落下中心地の説明から始まり、平和祈念像の説明まで熱心に当時の状況を説明いただきました。

連合4行動はこの後「平和行動in根室」へと場所を移します。日本だけではなく世界全体が恒久平和を願い、核兵器廃絶、戦争を起こさない社会を目指していきたく考えました。

「ビリョクだけどもリョクじゃない」…高校生平和大使のテーマより

大窄 新二



- 参加者<10名>
- 穴戸 良太 (印刷労連本部)
 - 大窄 新二 (印刷労連本部)
 - 別府 雅弘 (凸版印刷労組)
 - 佐々木 芽子 (凸版印刷労組)
 - 大上 隆史 (凸版印刷労組)
 - 徳野 浩之 (コクヨ労組)
 - 松原 康貴 (共同印刷労組)
 - 小山 智広 (フォームズユニオン)
 - 鈴木 章之 (図書印刷労組)
 - 笹谷 風香 (リーブルテック労組)

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済 NEWS



公式キャラクター ピットくん

こくみん共済	団体生命共済
火災共済	自然災害共済
総合医療共済	せいめい共済
マイカー共済	自賠償共済
交通災害共済	新セット移行共済

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

たすけあいの輪をむすぶ

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

編集後記

平和行動へご参加され、寄稿を頂いた皆様に感謝申し上げます。改めて、命の尊さ、平和の大切さについて再認識をさせていただいた次第です。

今年は戦後77年。振り返ると私が小学生の時、米ソを中心とした東西諸国が「冷戦」状態と社会では教えられ、「核戦争」が起きるのではと恐れていました。その後、ベルリンの壁崩壊、冷戦終結と世界が平和な方向へと歯車が回り出したと感じていましたが、ロシアのウクライナへの侵攻、台湾問題の緊張など、歯車が逆回転しはじめたと感じてしまいます。平和な未来のために私たちができること、それは「相互扶助」、「思いやり」などを積み重ね、その輪を広げること、コロナ禍ではより一層、強く感じる次第です。

記録とともに戦時の記憶を語り継ぎ、未来永劫、平和な世の中が続くことを願うばかりです。

教育広報委員 井筒智義

R3ろきん

知って防ごう

あなたの身近に潜む

解決しよう

マネートラブル



特設サイトで動画をチェック!

https://all.rokin.or.jp/money_literacy/